



2019年2月5日

各 位

会 社 名 大陽日酸株式会社
代表者名 代表取締役社長 CEO 市原 裕史郎
(コード番号 4091 東証第一部)
問合せ先 広報・IR部長 於 勢 久卓
(TEL 03-5788-8015)

現中期経営計画 Ortus Stage 2 数値目標変更のお知らせ

大陽日酸株式会社（社長：市原 裕史郎）は、このたび 2017 年 3 月 8 日に公表した「中期経営計画 Ortus Stage 2」における最終年度 2021 年 3 月期の数値目標を変更いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 数値目標変更の背景

当社は、2018年12月3日付「米国Praxair, Inc. 社の欧州事業の取得（子会社化）手続き完了に関するお知らせ」にて公表した通り、米国Praxair, Inc. の欧州事業の一部（ドイツ・スペイン・ポルトガル・イタリア・ノルウェー・デンマーク・スウェーデン・オランダ・ベルギーの産業ガス事業、英国・アイルランド・オランダ・フランスにおける炭酸ガス事業、及びヘリウムに関連する事業）を運営する法人の株式を取得いたしました。

加えて、2018年12月13日付「米国でのHyCO 事業並びに関連資産買収のお知らせ」にて公表した通り、100%子会社であるMatheson Tri-Gas, Inc.（本社：米国テキサス州）を通じて、ドイツのLinde Aktiengesellschaft の子会社であるLinde Gas North America LLC が米国で行っているHyCO 事業の一部並びに関連資産を買収する契約を締結し、買収手続きを進めております。

これらの買収により、当社の事業規模が大きく拡大し、連結業績にも大きく貢献することが見込まれますので、現中期経営計画 Ortus Stage 2 最終年度 2021年3月期の数値目標を変更いたします。尚、中計経営計画で掲げている「基本方針」・「重点戦略」に変更はありません。

2. 数値目標変更の概要

重要経営指標として、新たに、財務健全性を評価する「調整後ネットD/E レシオ※1」を追加いたします。

	2021年3月期 当初計画 数値目標	2021年3月期 変更後 数値目標
売上収益	8,000 億円	9,100 億円
コア営業利益	760 億円	1,000 億円
コア営業利益率	9.5 %	11.0 %
海外売上収益比率	45.0 %	55.0 %
ROCE	9.0 %	7.1 %
調整後ネット D/E レシオ ※1	—	1.27 倍 ※2

*想定為替レート（米ドル→円）：110 円、（ユーロ→円）：125 円

※1 調整後ネットD/E レシオとは、調整後連結純有利子負債（社債及び借入金の合計額から現金及び現金同等物並びに残存するハイブリッドファイナンスにおいて格付機関より資本性の認定を受けている額を差し引いた額）を調整後連結株主資本（親会社の所有者に帰属する持分及び残存するハイブリッドファイナンスにおいて格付機関より資本性の認定を受けている額）で除した値

※2 調整後ネットD/E レシオは、2023年3月期に1.0倍以下とする計画

（セグメント別数値目標）

セグメント	売上収益	コア営業利益	コア営業利益率
国内ガス事業	3,800 億円	310 億円	8.2 %
米国ガス事業	2,050 億円	200 億円	9.8 %
欧州ガス事業	1,800 億円	280 億円	15.6 %
アジア・オセアニアガス事業	1,150 億円	135 億円	11.7 %
サーモス事業	300 億円	95 億円	31.7 %
消去又は全社	—	▲20 億円	—
合計	9,100 億円	1,000 億円	11.0 %

（ご参考 — 投資計画）

現中期経営計画での4カ年の投資計画に、欧州事業・HyCO 事業での投資金額を加算した上で、当初投資計画を採算性・効率性の観点で精査し、投資金額を変更いたします。

（2018年3月期を初年度とする4カ年合計）

当初投資計画	変更後 投資計画
3,400 億円	1 兆 295 億円*

*この内、欧州事業買収及びHyCO 事業買収の合計値は6,810 億円

以 上